

小型充電式電池の捨て方にご注意ください！

リチウムイオン電池などの小型充電式電池の不適切な捨て方により、ごみ収集車やごみ処理施設において、衝撃が加わった際に発火し、火災事故が発生しています。

ごみ収集車(不燃ごみ)に混入されていた
バッテリーなど



(撮影：児玉郡市広域市町村圏組合)

発火原因となった加熱式タバコ
(リチウムイオン電池内蔵)



(画像出典元：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)

小型充電式電池とは

繰り返し充電して使える以下の電池のことです。

- ①リチウムイオン電池
- ②ニッケル水素電池
- ③ニカド電池



(イラスト出典元：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)

小型充電式電池かどうかは上記のリサイクルマークが付いているかどうかで確認してください。

(リサイクルマークの表示がなく、電池の種類を示す英文字のみ表示されている場合もあります)

小型充電式電池が使われている主な製品

①スマートフォン	②モバイルバッテリー	③電子タバコ	④電気シェーバー	⑤電動歯ブラシ
⑥ハンディクリーナー	⑦ゲーム機	⑧デジタルカメラ	⑨ビデオカメラ	⑩ノートパソコン

(①～⑦のイラスト出典元：公益財団法人日本容器包装リサイクル協会)

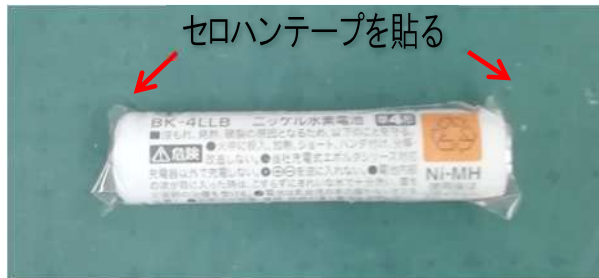
※これらのものなど充電して使用できる製品を捨てる際は、小型充電式電池が使われていないか確認してください。

小型充電式電池の正しい捨て方

①製品から小型充電式電池を取り外す。

- ・小型充電式電池の取り外しが困難な場合は、無理に取り外そうとはせずに販売店等に相談してください。
- ・モバイルバッテリーは機器本体の回収となりますので分解はしないでください。

②プラス極・マイナス極の金属端子部にセロハンテープやビニールテープを貼り、絶縁処理する。



③リサイクル協力店・協力自治体に持っていく。

リサイクル協力店・協力自治体の検索はこちら

(リンク先 <https://www.jbrc-sys.com/brsp/a2A/itiran.G01>)

小型充電式電池でも回収できないものもあります。その場合は、販売店等に相談してください。

<回収できないものの例>

- ・ハードケースに入っていないラミネートタイプのもの
- ・加熱式タバコに使用されているもの など

小山川クリーンセンターではリサイクル協力自治体として回収ボックスを設置しています。小山川クリーンセンターに直接持ち込む際は係員に申し出てください。

収集場所には出さないでください。

